

# 大震災を乗り越え、そして復興のために

(株)フィデア総合研究所社長  
知久富男

東日本大震災（東北地方太平洋沖地震）により、貴い生命を落とされた方々のご冥福をお祈り申し上げますとともに、甚大な被害を受けられました皆さまに心よりお見舞い申し上げます。また、巨大な津波が襲いかかる中、多くの人々の生命を救おうとして自らの生命をなげうった町役場の職員の方など、多くの殉職者に深く哀悼の意を捧げたいと思います。

頻発する余震、そして原発事故など、引き続き不安な毎日です。原発事故につきましては、諸外国からの技術支援も全面的に得て、何としても放射性物質の封じ込めと原子炉囲りの安定化を図らなければなりません。東京電力と政府の全知を掛けた対応を強く要請する次第です。

多くの行方不明の方々の搜索、被災者・避難者の支援、被災地の復旧、そして復興へと厳しい道程です。とりわけ原発事故等で電力供給の制約が予想される中での取り組みには多くの困難が伴うものと考えられます。

しかしながら、日本人には太平洋戦争後、多くの困難を乗り越えて復興した経験があります。そして、この戦後の復興、とりわけ首都圏の繁栄には東北出身者が大いに寄与しております。1996年時点での首都圏在住者で東北出身者の比率が圧倒的に多いことから（下図参照）、その一端をうかがうことができます。これからは、東北の方々が自らの東北の復興に力を合わせる時です。

当社も微力ながら、復興に向かって総合研究所としての役割を全力で果たしていくこととお誓い申し上げます。

